

表4 「課題研究」における教師用ルーブリック

(教師用評価票は生徒用とは一線を画す。あくまで作品主体に評価を行う際に使用する。つまり、作品内容から、デザイン要素に関する評価(生徒の意欲・態度)も判断する。)

評価基準		優秀	良	努力必要
考察力	知識理解(理解力)	内容が十分に理解され、主張を裏付ける説明が明確に表現されている	内容は理解されているが、主張を裏付ける説明が凡庸に表現されている	内容の理解が不明確であるため、主張を裏付ける説明が曖昧に表現されている
	発見・考察力(分析力)	主題を考察し新発見が表現されている	主題を考察しているが、新発見が不足している	主題の考察が曖昧で、新発見に至っていない
	考察力(工夫力)	調査研究を基盤に自分なりの考えや意見を持っている	調査研究のデータの報告に留まり自分の意見が述べられていない	調査研究データがやや不足しているため自分の意見まで達していない
応用力	文字の表現力	考察されたアイデア表現に適した表現(フォントと大きさ)に仕上がっている	考察されたアイデアはあるがフォントと大きさが適していない	考察されたアイデアがないため、フォントと大きさに規則性がない
	色彩の表現力	色数が制限され、まとまりがある	色数制限に方向性がないため、ややまとまりに欠ける	色数が多く、規則性・方向性に欠ける
	レイアウト(構成力)	文字と画像のバランスが良いため構成バランスが良い	文字と画像のバランスが一般的で特徴がない	文字と画像のバランスが曖昧でバランスが崩れている
総合力	表現力	独自のアイデアが反映された個性的表現になっている	独自のアイデアが凡庸であるため、個性的表現に達していない	独自のアイデアが不足しているため、表現に一貫性がない
	芸術表現力	魅力ある表現に仕上がっており、心を揺さぶる表現に達している	個性に欠け、心を揺さぶる表現に達しない平凡な作品である	個性に欠け、主張が曖昧であるため、魅力に欠ける
	独創力	真似や模倣でない独自のものとして表現されている	模倣ではないが、個性表現に欠けるため独創的と認識できない	主張に曖昧さがあり、模倣に近いため個性表現から離れている